



NO.1400

1月29日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七



憲法9条
戦争と、武力
による威嚇又
は武力の行使
を永久にこれ
を放棄する。

重油流出事故

二つの漁協が意見広告！

「網走観光ホテル重油流出事故について」という意見広告が、網走広報に折り込まれていました。昨年3月に発生した網走観光ホテルから重油約8000リットルが流出した事故についての経過とホテル側が行っていた調査の現状が書かれています。その流出した重油がどこにあるかも特定できず、計り知れない不安があるといっています。

を活発に行ってきた。また、市独自の条例をつくる作業も行っており、専門家の大学教授や弁護士などの協力も得ながら準備を進めています。また、2月2日に行われる臨時会には、北海道知事に対して「申し入れ書」を提出することで作業を進めています。日本共産党市議団は、引き続き漁業関係者の不安解消のため他の党派・議員と協力してまいります。

「新しい戦前」にはさせない！

1人でも多くの市民に「軍拡」の異常さを知ってもらおう！

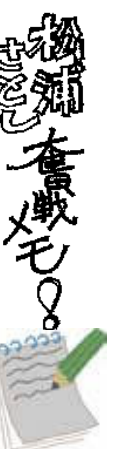
厳しい寒さの中、「ストップ！戦争法網走の会」は、21日に今年初めてのスタンディング宣伝をおこないました。

昨年暮れに閣議決定で「戦争できる国」への大転換を決め、岸田首相は国民への説明もしないままアメリカのバイデン大統領へ「ご報告」に行きました。参加した人たちから厳しい訴えがありました。「大軍拡で日本の平和は絶対につくれない」「物価の高騰で国民が苦しんでいます。年金が下げられ、賃金

が上がらない国のもとで、軍事費増の分を使えばどんなに暮しが助かるか」「GDP比2%の軍事費になればアメリカ、中国に次いで世界3番目の軍事大国になる」とその異常さを訴えました。車の窓から「がんばってくださいー」と若者2人が手を振ってくれました。世論調査でも軍拡に反対の声が広がっています。「ストップの会」では署名行動、チラシの配布など軍拡阻止の行動を計画しています。ご協力お願いします。



「軍拡」を許すなと宣伝を行う「ストップの会」



「インボイスで映画は衰退」と映画監督の深田晃司さんが述べています。深田さんは2016年、世界三大映画祭の一つ、カンヌ国際映画祭「ある視点部門」で『淵に立つ』が審査員賞を受賞し脚光を浴びました。最新作『LOVE LIFE』は、昨年9月のベネチア国際映画祭コンベンション部門で上映など、国際的に高い評価を受けています。

深田さんは、「テレビの発展とともに撮影所の雇用システムが崩壊し、監督や俳優、スタッフはフリーランスとして働くようになり、映画界はその変化に対応し切れなかった」「特に2000年以降、不安定な収入や雇用形態、長時間労働、ハラスメントなど劣悪な撮影環境の中で働き、コロナ禍によって状況はますます厳しくなっている」と述べています。インボイス制度に反対するのは、このような過酷な労働環境の問題と深く関わっているのです。議会で何度か取上げましたが、弱い者いじめの制度であり、中止する必要があります。



高齢になり運転免許証を返納する人が増えていきます。足となる手段はバスやタクシーを使つての病院通いなどの負担も大変です。そこを支援しようとする市は非課税世帯の高齢者の世帯に6千円の生活支援をしています。

先日、地域の訪問の際、免許を返納し買い物に困っているという方がいて、聞くと高齢者生活支援助成券をもらっていないとのことでした。早速、市に連絡して助成券をもらうことになりました。しかし、タクシーを利用して買い物すると往復で2千円はかかりますから、年間6千円では足りません。地域からは他に、公営住宅前の幅3mほどの通路の除雪が大変だ、市で除雪してほしいと切実な声もありました。高齢者をもっと支援する市政に変えてほしいですね。

流水

正月のめでたい花、福寿草があります。ナンテンと合わせて、「災い転じて福となす」と

言われます。福寿草は、早春の花として雪解けとともに春の日差しを受けて開花します。花は、径3〜4cmの黄色いおわん型の花です。▼アズマイチゲ、アマナ、エゾエンゴサク、ニリンソウなどと共に早春に咲く花たちをスプリング・エフェメラル（春の短命の植物たち）と呼びます。特に福寿草は、花・茎・葉を含め地上部全体が、太陽の動きに合わせて回転する性質を持っています。しかも、花の中は外気温より6℃近くの高温になり、受粉を助けるハエやアブなどを集めます。▼しかし、この花は毒草です。触つても何ともないのですが、食べると中毒を起します。毒は全部にあります。致死量は、3kgの猫↓2.1mg、10kgの犬↓7mg、20kgの中型犬↓14mgです。人間なら、69kgの成人で48.3mgです。花が終わり葉が展開すると山菜のシャクと間違えて採り中毒にかかるので、用心ください。博物館友の会会員 小森

